

令和4年度 経営企画部組織目標

組織名	経営企画部	部長	経営企画部長 帆苅 洋
組織の目的・方向性	人口減少による水需要と給水収益の減少に的確に対応し、健全な水道事業運営を確保していくために、一層の経営基盤の強化を図るとともに中長期的な視点に立ち、将来にわたって持続可能な水道事業の実現を目指します。		

経営企画部組織目標

経営企画部では、健全な事業運営を確保していくために、平成27年度から10年間を計画期間とした新・新潟市水道事業中長期経営計画（新・マスタープラン）を策定し、計画的かつ効率的に事業・取り組みを推進しています。

また、新潟市水道施設整備長期構想2020に基づき、耐震化などの災害対策や適正な施設配置を進め、水需要の減少に対応した高効率かつコンパクトな水道システムの構築を目指します。

この方針のもと、今年度は、次の4つの目標に重点的に取り組みます。

重点目標

- 1 水需要の減少を踏まえた、将来的な料金体系を検討します。
- 2 浄配水施設整備に併せ、効率的に浄配水施設等の耐震化を進めます。
- 3 老朽化した管路施設の計画的更新とともに、管路施設の耐震化を進めます。
- 4 老朽化した設備を計画的に更新するとともに、施設規模を適正化します。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

取組結果	重点目標の達成状況	目標数	4	達成数	3
	前回(H13)料金改定以降の水需要減少傾向について、口径別に影響を調査するとともに、他の政令指定都市の料金体系を分析し、生活用として配慮すべき料金の範囲及び従量料金の水量区分について、対応の方向性を整理しました。				
また、浄配水施設及び基幹管路の更新に併せた耐震化及び新潟市水道施設整備長期構想2020に基づく施設規模適正化の検討を計画的に進めました。					
なお、青山浄水場施設整備事業の一部工程に遅れが生じたため、目標進捗率に到達せず、重点目標4の一部に未達成が生じました。工程調整を行い、令和6年度での事業完了に向け、確実な施工管理を進めます。					
今後の方針	市民の暮らしを支えるライフラインとして、万一の事故や災害発生時においても施設被害を最小限に止め、災害に強い水道システムとするため、水需要予測を踏まえた施設規模の適正化を進めるとともに、事業運営に必要な財源を確保するための財政計画を策定していきます。				